

株式会社エユー工業

フレーム加工を手作業から機械化することによる
作業の効率化・精度の向上及び品質の安定化の実施

より正確、美しい仕上がり

エユー工業は、これまで電動式の丸鋸を使って手作業で行っていたステンレスや鉄などのフレーム材の切断作業を機械化した。可能にしたのは、ものづくり補助金で2018年11月に導入したレーザー加工機だ。

例えば、3本のフレーム材を直角に接合する場合、従来ならそれぞれ45度に切った2本の切断面を合わせる格好でまっすぐ接合し、続いて真っ直ぐに切った3本目を垂直に接合した。これだと3本目の



新型レーザー加工機で接合部を切断したフレーム材。右面には位置決めハブが刻まれている

溶接部があらわになる。一方、新規導入のレーザー加工機は手作業より正確な切断が可能のため、45度に切った3本の切断面を合わせて三方で接合することができる。しかも各切断面に位置決めタ

ブ（出っ張り部分とへこみ部分）を付ける切り方もできるため、お互いのタブをかみ合わせる格好で接合すれば強度もアップする。

従来のように先に2本を接合するのに比べ、3本を同時に接合するやり方は製品としての仕上がりが違ってくる。装飾性の高い部品の一部に使ったり、金属の光る部分を見せた「エンドユーザーにとっては最も使える方法になる。岡島永樹代表取締役は「今後はこうした切り方、方法ができることをPRしていきたい」と意気込む。

今までのレーザー加工機は金属板を切るだけだったが、フレーム材も切れる機能が追加され、精度の高い製品が短時間でできるようになった。同社の新型レーザー加工機は

ステンレスなら15センチ、鉄なら22センチの厚さまで切ることができる。岡島氏によれば新型機の導入で、加工時間は20%程度カットできているという。

■ 株式会社エユー工業

本社：川島町下小見野147-1

代表者：代表取締役 岡島永樹

設立：1989年11月 資本金：1000万円 従業員数：7人

電話：049 (297) 4718

メモ▶製造工場などの製造ライン製作や組み立て、取り付けを中心にスタート。現在は製缶加工や精密板金加工、各種フレーム製作、各種製造機械製作にも取り組む。